

## 地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践 ⑦

# 『セフィロト病院の地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践』

社会福祉法人 青祥会 セフィロト病院  
医療社会事業科 雑賀 正明

### 1. 病院の概要

所在地：滋賀県長浜市寺田町257番地

設置主体：社会福祉法人 青祥会

病床数：179床

(うち精神保健福祉法指定病床数20床)

精神一般病棟 60床

精神療養病棟 60床

認知症治療病棟 59床

診療科目：精神科・老年精神科・内科

主な法人内施設：

◆認知症疾患医療センター(セフィロト病院内)

◆介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

5カ所 計457床

青浄苑(長浜市)、アンタレス(長浜市)、

青芳(長浜市)、坂田青成苑(米原市)、

やまびこ(愛知郡愛荘町)

◆介護老人保健施設 2カ所 計234床

長浜メディケアセンター(長浜市)、

坂田メディケアセンター(米原市)

◆軽費老人ホーム(ケアハウス)

2カ所 計30床

ケアハウス アシ・アエ(長浜市)、

ケアハウス さかた(米原市)

◆訪問看護 1カ所

アンタレス訪問看護ステーション(長浜市)

◆訪問介護 1カ所

アンタレスホームヘルパーステーション(長浜市)

◆訪問リハビリテーション 1カ所

坂田メディケアセンター(米原市)

◆通所リハビリテーション 2カ所

長浜メディケアセンター(長浜市)、

坂田メディケアセンター(米原市)

◆デイサービスセンター 6カ所

アンタレスデイサービスセンター(長浜市)、

デイサービスセンター青芳(長浜市)、

長浜西部デイサービスセンター(長浜市)、

長浜長寿デイサービスセンター(長浜市)、

山東デイサービスセンター(米原市)、

デイサービスセンターやまびこ(愛知郡愛荘町)

◆地域包括支援センター 1カ所

南長浜地域包括支援センター(長浜市)

※市からの委託

◆居宅介護支援事業所 5カ所

アンタレスケアプランセンター(長浜市)、

ケアプランセンター青芳(長浜市)、

西部ケアプランセンター(長浜市)、

坂田ケアプランセンター(米原市)、

秦荘ケアプランセンター(愛知郡愛荘町)

◆高齢者福祉センター 1カ所

長浜西部福祉ステーション(長浜市)

◆グループホーム

(外部サービス利用型共同生活援助)

おりひめ(長浜市)、ひこぼし(長浜市)

## 2. 病院基本方針

### 1. 医療・介護サービスの向上

「セフィロト病院認知症ケアシステム」を通じ、法人内施設を含む介護事業所等との連携強化を図り、地域包括ケアとしての認知症ケアシステムを含む青祥会全体の包括ケアシステム『青祥会ケアシステム』を深化していきます。また、精神科医療による認知症対策強化にも努めます。更には、医療・介護の安全と事故防止、新型コロナウイルス感染防止対策を含めた感染症の蔓延防止、食中毒の防止などリスクマネジメントの徹底に努めます。

### 2. 地域貢献活動の取り組み

社会福祉法人の公益性・公共性が高く求められることを認識し、地域ニーズに沿った貢献活動を実施します。また新型コロナウイルス感染症防止対策の強化により、患者・家族様が安心して利用できる病院を目指します。

### 3. 人材確保・育成の取り組み

人材の計画的な採用と育成・定着・確保を図り、サービス提供の安定した事業継続に努めます。また新たな人事考課や勤務制度等の改善を図り円滑な業務の推進に努めます。

### 4. 組織強化の取り組み

青祥会の理念の実践と青祥会ケアシステムを地域に広め、信頼される青祥会ブランドの構築に努めます。また、電子カルテの導入により業務の効率化の推進を図り、魅力ある病院となるよう組織づくりに努めます。



セフィロト病院 外観

## 3. 地域生活課題の解決に向けた地域貢献の実践

セフィロト病院は昭和33年4月に八幡精神病院（現在の公益財団法人 青樹会 滋賀八幡病院）長浜分院として設立され、平成24年4月に経営主体が社会福祉法人青祥会に移行したことを受けセフィロト病院へと改名しました。平成27年5月には認知症治療病棟（59床）を運用開始、同年10月には認知症疾患医療センターを開設し、高齢者や認知症に対する医療・保健・福祉が一体となった総合的な地域包括ケアを目指した体制が整いました。

セフィロト病院の持つ病院機能を十分に発揮し、医療と介護を融合することにより、幅広く多様化するニーズに応えるべく、地域貢献に努めています。

### ◆青祥会ケアシステムについて

わが国で少子高齢化が叫ばれて久しいですが、これから本格的な人口減少の局面にさしかかります。我々が暮らす湖北圏域（長浜市、米原市）でも令和5年7月時点での高齢化率は30%に達し、今後さらに働き盛りの人口が減少し、高齢者の、そして認知症状態の方の割合が増加する傾向は避けがたい状況となっています。そうした中で当法人では、国が示す施策を踏まえ市町との連携を密にしながら地域のニーズにしっかりと対応し、高齢者に安心・安全を提供する『青祥会ケアシステム』の定着化を目指しています。これは医療サービスと介護サービスを連携・融合させ、地域の誰もが安心して暮らせる包括的なケアシステムです。当院（認知症治療病棟、認知症疾患医療センター）、地域包括支援センター、介護施設（老人保健施設、特別養護老人ホーム）、訪問看護、訪問介護等の機能を有する我々の法人だからこそ、切れ目のないサービスが提供できる仕組みを作り上げていけると考えています。

認知症高齢者等に対するやさしい地域づくりに向けて、発症予防から早期発見、早期診断、早期治療、専門的治療及び介護までの切れ目のない連携をとった仕組みの構築に努めています。



◆セフィロト病院での具体的な取り組み

＜地域関係機関との連携強化＞

当院では認知症になってもできる限り住み慣れた地域での暮らしを続けられるよう医療の立場から地域の事業等に協力し積極的な連携を図っています。介護サービスや訪問看護事業所、ボランティア団体、家族会などそれぞれの立場から圏域で抱える課題やその解決策を一緒に考え、より人にやさしい地域づくりが実現できるよう取り組んでいます。さらに長浜市の認知症初期集中支援チームには当院医師（認知症サポート医）や看護師がメンバーとして参画し、地域から相談のあったケースに対しての個別支援にも対応しています。

＜認知症疾患医療センター＞

当院の認知症疾患医療センターは、湖北圏域（人口約14万8千人）唯一の認知症専門外来として医師、保健師、看護師、公認心理師、精神保健福祉士、など多職種でのチームを構成し、診断と治療、認知症に関わる啓蒙活動や相談等を行っています。

まず診断や治療については、かかりつけ医や関係機関からの紹介、ご本人及びご家族からの相談を受け診察、検査、鑑別診断を行います。診断後は精神保健福祉士や公認心理師等がケア

マネージャーも含め今後の生活に必要な支援やサービスを共に考えていきます。

啓蒙活動としては、地域の関係機関や住民を対象とした研修会を開催、さらには広報誌や軽度認知障害と診断された方を対象としたパンフレットを定期的に発行、ご本人やご家族、また地域の医療機関や支援機関に配布するなどしています。

そして連携という点においては、地域の各地域包括支援センターとの情報交換会の場を持ち、当院センターの活動状況や事例、また地域が抱える題等を共有しながら次への取り組みを一緒に考えています。

＜認知症治療病棟＞

認知症治療病棟は湖北圏域では当院のみが開設しており、認知症に伴う精神症状や行動障害、強度の不安、興奮状態により自宅や施設などでの生活が困難となった方を対象に専門的な治療、ケアを行う病棟になります。

地域のかかりつけ医や関係機関からの相談に迅速に対応し、治療が必要と

なった方に対し医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士等の専門職で

構成されるチームが支援機関との連携も踏まえながら早期退院に向け日々

取り組んでいます。

4. おわりに

加速していく高齢化、特に認知症状態の方の地域生活における支援のニーズは今後さらに高まっていくことは確実であり、地域包括ケアシステムを完成させるための地域づくりが我々の住むこの圏域でも差し迫る課題となっています。

認知症になっても安心して暮らしていける共生社会の実現にむけて、当院に求められる役割、果たすべき役割を再認識し、今後も地域の拠点病院として貢献できればと考えています。